



# 『北っ子だ』より

北小倉小学校 学校だより 2017  
<http://www.kita9.ed.jp/kitakokura-e/>

平成29年10月 25日  
 -Vol.12  
 発行:校長 中野 敬

## 全国学力・学習状況調査特集号

### 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語，算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。この度、本年度の北小倉小の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

#### 1. 教科に関する調査結果の概要

分類	学力調査の分析	
国語A	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的には、北九州市の平均正答率を下回っています。</li> <li>書く力を問う問題に課題があり、相手意識や目的意識をもたせて文を書くことを習慣化する必要があります。</li> </ul>
	よくできた問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字を読むことができていました。</li> </ul>
	努力が必要な問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字を正しく書いたり、発表が伝わりやすいように工夫して書いたりする設問については、無回答率が高く、正答率も低く課題がみられます。</li> </ul>
国語B	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的には、北九州市の平均正答率下回っています。</li> <li>内容を正しく読んだり、話の内容を関連付けながら、理由を明確にして自分の考えを書いたりすることに課題があります。</li> </ul>
	よくできた問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーチメモを使うことのよさを捉え、文を書くことができていました。</li> </ul>
	努力が必要な問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図に応じて文を書いたり、理由を明確にして自分の考えをまとめて書いたりすることについて無回答率が高く、また正答率も低く、課題がみられます。</li> </ul>
算数A	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に全国平均正答率を下回っています。</li> <li>「量と測定」領域に誤答、「数量関係」領域に無回答が多く、課題がみられます。</li> </ul>
	よくできた問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解することや乗法の計算ができていました。</li> <li>二つの数の最小公倍数をもとめたりすることができていました。</li> </ul>
	努力が必要な問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算問題に誤答が多く、計算力を強化することや工夫して計算する習慣をつける必要があります。</li> <li>任意単位による測定の意味を問う設問や二次元表の分類整理に関する設問では、誤答・無回答が多く課題がみられます。</li> </ul>
算数B	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に全国平均正答率を下回っています。</li> <li>自分の考えを記述する設問では、無回答・誤答が多く、課題が見られます。</li> </ul>
	よくできた問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均を求める式を判断することができていました。</li> </ul>
	努力が必要な問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>示された説明や情報を正しく読み取り、それを基に自分の考えをまとめて記述する設問では、無回答・誤答が多く、課題がみられます。</li> </ul>



### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する調査結果の概要と改善策

質問紙調査の結果分析
<p>○学校に行くのが好き、友達に会うのは楽しいと答えている児童が福岡県の平均を大きく上回っており、学校での生活や人間関係において安定した生活を送っている児童が多いようです。その一方で、朝食を毎日食べていない児童が平均よりもやや多く、「自分にはよいところがある」と感じている児童も平均よりもやや少ないという結果でした。今後は食育を進めたり、学級の中で褒められる経験が多くなるような取組をしたりして、改善を図ります。</p>
<p>○学習習慣については、「自分で計画を立てて勉強している」「家で学校の復習をしている」が福岡県の平均をやや上回っていますが、「家で学校の宿題をしている」がやや全国の平均を下回っています。学習習慣においては、個人差が大きく、個別の指導を行っていくようにします。</p>
<p>○読書については、「読書が好きだ」「1時間以上読書をしている」と答えている児童が全国の平均を上回っており、朝の読書タイムや家庭での取り組みが浸透してきているものと考えられます。</p>
<p>○学校での学習は友達との間で話合う活動をよく行い、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると答えている児童が全国の平均を上回っており、話し合う活動が学習スタイルとして定着しているといえます。しかし、話の組み立てを工夫したり、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりすることが難しいと感じている児童が全国の平均を上回っています。このことから、書く・話すという表現する力を身に付ける学習になるよう授業改善を進めます。</p>

### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

<p>○各学級において、児童の発達段階を考慮し、ペア学習や班学習など、目的に応じて自分の考えを他の人に説明したり、他の人の考えを聞いて自分の考えを深めたり、広げたりする活動を今後も授業の中で積極的に取り入れていきます。</p>
<p>○朝学習で視写を取り入れることで文章の書き方に慣れさせたり、1時間の授業の中に自分の考えを書くことを必ず位置付けたり、自分の考えがもてるような発問の工夫をしたりするなどの授業改善を行っていきます。</p>

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

<p>○基礎基本を定着させるためにも、家庭学習の重要性と取組について保護者に知らせます。そのため、「北小倉小学校家庭学習の手引き」や「家庭学習チャレンジハンドブック」を活用したり、宿題の出し方を工夫したりして、学校と家庭が共同して家庭学習の在り方を改善できるようにしていきます。</p>
<p>○読書に対する高い意欲や関心を生かし、家庭でも読書をする時間がもてるように「読書の日」を設定するなど、家庭と連携して取り組んでいくようにします。</p>